



千葉の酒蔵探訪記

地の米、地の水、地の気候・風土、地の人情を育てる酒

守屋酒造 (株)

山武市守屋酒造株式会社
 「五代目蔵主(くらぬし)守屋雅博
 さんに広報部会の取材を受け
 て頂き、また最初に訪問した私
 たちをお出迎えしてくれたの
 は体格も尾も立派な秋田犬で
 した。彼はとても穏やかにお店
 の番頭役をされていました。鳴き
 方が印象的でした。
 五代目蔵主は、伝統を守りな
 がら日々の変化と地域性をよ
 く理解して、ITとビジネスを
 融合して、お酒を愛するお客様
 に感動を与えています。



守屋酒造の原料である米は100%千葉県産です。五代目蔵主である守屋氏は、金融機関で勤務経験があり、海外経験もあったそうです。そうした経験と知恵を活かして、1992年からお客様のお名前を記



載するなどのオリジナルラベルを作成し、お客様の喜びと感謝の気持ちが届けられるようアイデア商品を開発しました。世界各国から見学や問い合わせがあり、大使も含め30か国のラベルを作成した経験があるそうです。お酒の製造過程では私たちには想像もできない苦勞がたくさんあるようです。しかしそうした苦勞を乗り越え、台湾のフリーペーパーに掲載され、海外からお客様を沢山迎える事ができ、「喜びを満喫し仕事冥利に尽きる」と語っておられました。



また、守屋酒造では酒蔵を開放し定期的にコンサートを開き、出会いと交流の場を提供しています。音楽を通じて、沢山の皆さんに自社のブランド【地酒舞桜・焼酎守正】を味わってもらいたいとの蔵主の思いは多くのお客様に届き、ハッピーな時間と空間を提供しているようです。私もぜひ参加したい、そんな思いに駆られました。酒造がテレビドラマの撮影現場として利用されたことあるので、読者の皆さんのお目にも触れているかもしれません。



五代目蔵主から一番印象深い話がありました。お酒と歌はとてもユニークな関係がありました。昔、蔵人は5人一組のチームでお酒を造りました。その中のリーダーは、杜氏(トウジ)と言い試験もあります。試験の中には、なんと音楽もあるそうです。歌が上手でないと、合格が難しいそうです。その理由は、酒造りには時間の計測が欠かせないので、昔は1曲歌ったら〇分という風に時間をはかり、美味しい酒を造ったそうです。裏返せば、お酒を造る杜氏さんには、歌が苦手な方はいないです。



守屋酒造さんは、お酒のセミナーの出張サービスも行なっているそうです。是非興味ある方、お問い合わせください。

(広報部会 修雪蓮)



● 会社概要:守屋酒造(株) 五代目蔵主 守屋 雅博氏(つくも支部)/ 所在地…山武市蓮沼ハの2929